

児童朝会 校長の話 11月29日

先週の水曜日から金曜日まで、2泊3日で6年生と日光移動教室に行ってきました。今年度は4年生、5年生が移動教室に行けませんでした。6年生は小学校生活最後の1年間です。何としても実施したいと思っていました。浅草小学校だけでなく、台東区内の19校全ての6年生が移動教室へ行けるようにと、教育委員会や旅行会社の方や多くの方々が手を尽くしてくださいました。いつなら行けるか、どこに泊まれるかと情報を集めてやっと予約ができました。けれども行ったことのない季節、泊まったことのない宿での実施となり、どんな活動をしたら楽しめるか、6年生の担任の先生は苦勞を重ねました。そして実際に確認しに日光までに行ってきました。こうして実現した日光移動教室でした。



私は何度も日光移動教室に行っていますが今回初めて体験したのが蒸気機関車の乗車です。下今市駅から鬼怒川温泉駅までの50分間乗りました。大樹ふたら号です。蒸気機関車に乗って一番楽し

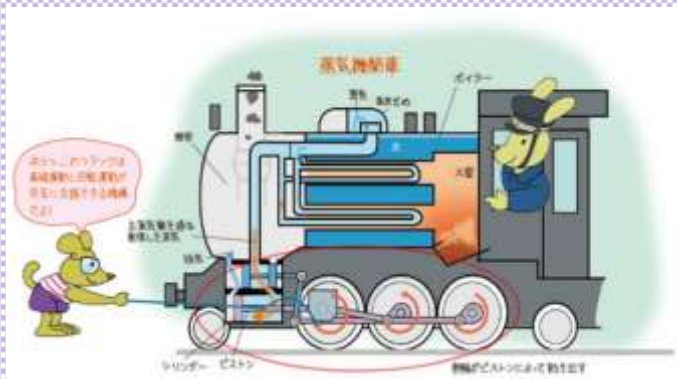
かったのは、駅を出発する

ときに、出発の合図で「ポッポー」と汽笛が鳴ると、駅の外にいる人もホームにいる人もみんなが「いってらっしゃい！」と手を振ってくれます。私たちも汽車の中から窓越しに「いってきます！」と手を振



ります。出発して町や畑や山の中を走っていると、外で仕事をしている人も町を歩いている人もみんな手や足を止めて手を振ってくれます。私たちも応えて手を振ります。そんな暖かな光景がとても素敵でした。

今は電気の力で走る電車しか走っていませんが、昔はみんな蒸気機関車でした。初めて日本で蒸気機関車が走ったのは明治5年。今から150年くらい昔で、ちょうど浅草小学校ができた頃です。その頃は日本には蒸気機関車をつくる技術が無かったのでイギリス、アメリカ、ドイツから輸入していました。明治26年に初めて、国産の蒸気機関車が走りました。明治、大正、昭和の時代は日本中を蒸気機関車が走っていました。



蒸気機関車はどうやって走るかというと、水が沸騰するとき発生する蒸気の力で走ります。石炭を燃やした熱で水を沸騰させるのです。蒸気機関車では、石炭を火室へ入れ、水をボイラー

に貯めます。石炭を燃やした熱い煙が水を温め、蒸気が蒸気だめに集まります。蒸気がシリンダーに送られてピストンを動かします。そのピストンの動きが車輪を回して機関車が進みます。蒸気機関車は時代と共に電車に替わり、昭和51年、今から50年くらい前に全ての蒸気機関車が廃止されました。今では、観光用として乗ってみたいお客さんのために走っています。

6年生はこれ以外にもたくさんの思い出をつくり、楽しい3日間を過ごしてきました。楽しく過ごせたのは、6年生がルールを守り時間を守り、友達と助け合い、みんなで協力して生活したからです。立派な態度でした。今週は学芸会がありますね。この立派な6年生を中心に、みんなで力を合わせて、素晴らしい行事をつくっていきましょう。